

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第3回 枚方市新しい学校づくり協議会
開催日時	令和3年6月5日(土) 10時00分から11時10分まで
開催場所	輝きプラザきらら(教育委員会室、会議室等) 高陵小学校(校長室、職員室) 中宮北小学校(校長室、職員室) 【分散し、リモート形式(遠隔)での開催】
出席者	会 長：大村委員 副会長：加嶋委員 委 員：森委員、森田委員、松浦委員、中田委員、明井委員、 春永委員、山下委員、栈敷委員 事務局：高橋総合教育部次長、畑中新しい学校推進室課長、嶋 田課長代理、石田係長、多田主任、廣瀬主任
欠席者	なし
案 件 名	1. ワーキングチームの取り組みについて 2. 新しい通学路(案)について 3. 学校名(案)の選定方法について 4. 統合に係る予算関係について 5. その他
提出された資料等の 名称	1-1. ワーキングチームの設置について(案) 1-2. 枚方市新しい学校づくり協議会の概要(案) 2-1. 令和4年度からの通学路(案)についてのアンケート 2-2. 令和4年度からの通学路(案)についてのアンケート 一覧表 2-3. 令和4年度からの通学路(案)についてのアンケート 意見箇所 3. 新しい学校名(案)の選定方法について(一例) 4-1. 統合に係る予算関係について 4-2. 統合に係る予算関係について(対象物リスト)
協議・決定事項	1. ワーキングチームの設置 2. 令和4年度からの通学路(案)の意見抽出 3. 新しい学校名(案)の選定方法 4. 統合に係る予算関係 5. 次回協議会開催日時の決定(令和3年7月17日土曜10時)
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協 議 内 容

1 開 会

会 長： 定刻になりましたので第3回枚方市新しい学校づくり協議会を開催します。

本日の会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が延長されたので、前回と同様、リモート会議としております。スムーズな進行に努め、会議時間を1時間以内としたいと思います。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

ご発言がある場合は、一言、発していただき、私が指名をしてからご発言いただきますようよろしくお願いいたします。

2 議 題

案件1 ワーキングチームの取り組みについて

会 長： それでは、案件1.「ワーキングチームの取り組みについて」事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは、ワーキングチームの取り組みについて、ご説明させていただきます。前回の協議会で、「新しい学校に関すること」、「通学路等の安全安心に関すること」、「地域・PTAに関すること」に分類するテーマに応じて、(仮称)ワーキングチームを設置することをご提案させていただきました。

本日は、新しい学校づくり協議会の運営体制、ワーキングチームの位置づけについて改めてご提案させていただきます。

まず、ワーキングチームの位置づけですが、本協議会の設置規約第8条に、「必要な事項は、教育長が別に定める」とありますので、これに基づく会議とします。その構成ですが、新しい学校づくり協議会委員から担当委員として、ワーキングチームに入ってください、チーム代表として運営にあたっていただきたいと思います。メンバーについては、テーマに応じた委員を、保護者・地域の方・教員から選んでいただきまして、会長から依頼をしていただきたいと思いますと考えています。

ワーキングチームの会議については、自由闊達な意見交換ができるよう、非公開とします。協議会へは、ワーキングチームでの検討内容について、チーム代表から報告していただき、検討内容については協議会だよりに掲載するなど情報提供に努めます。このような提案になりますが、ワーキングチームの位置づけ、構成についてご意見をいただければと思います、よろしくお願いいたします。

会 長： ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。PTAの諸問題については、5月22日より両校のPTA本部役員同士の話し合いが始まっており、今後も引き続き会合を開いて進めていきたいと考えております。他の案件につきましても、ワーキングチームを設置して進めていく流れになると思うのですが、よろしいでしょうか。

・
・

委 員： PTAが話し合ったのはどのような内容でしょうか。

会 長： 新しいPTAの役員数、委員数等の枠組みを決定してから、規約等を決めていきたいというような内容です。新しい学校でコミュニティが行うイベントについて、両コミュニティで話し合っただけならと思うのですがいかがでしょうか。

委 員： それは今年から話し合っほしいということでしょうか。

会 長： PTAも協力するための委員を設置する必要がありますので、防災訓練等、コミュニティが行うイベントについて年にどのくらい開催するかについて、話し合っただけだと考えています。

- 委員： コミュニティの統合は徐々に行っていきたいと考えますので、両校区合同のイベントは来年4月1日以降に行う形になると考えます。
- 会長： その通りです。令和4年4月以降に開催する行事の方針について、例えばお祭りを年に1回行うとか、難しいと思いますがある程度で結構ですので、年に何回行事を行うか話し合っていたらと思います。
- 委員： 中宮北校区については、今年1年間は中宮北校区の催しを計画通り行う予定です。
- 委員： それは2022年度以降の行事という話でしょうか。
- 会長： そうです。子どもたちのために何かしらの行事を行っていただけると思っておりますので、その行事に対して、PTAとして枠組みを作って協力する、もしくは委員を設定して協力する等の体制を整えたいと思っております。
- 委員： 極端な話、コミュニティがいつ統合するかわからない状況の中、今決めるのは難しいのではないのでしょうか。行事にPTAが何人ぐらい必要とか、心持ちのため決めておきたいということですよ。
- 会長： そうです。
- 委員： 現状は、個々の行事ごとに役員を決めているという認識でよろしいですか。
- 会長： 高陵小は実行委員制で全保護者参加という形をとっております。中宮北小については、ある程度委員数を絞って行事に協力するという形をとっており、両校で手法が異なっています。
- 委員： PTAでもそれぞれ形が違うという事ですよね。今以上に行事を増やす事はなかなか難しいと考えており、また、どう調整できるか不透明な部分もあるので、実際やってみた中、臨機応変に動いていただけたらありがたいと考えます。
- 会長： 防災訓練等、決めておく必要のある行事もあるかと思っておりますので、コミュニティのワーキングチームを作っていただき、新しい学校で行う行事について、徐々に協議を進めていただけたらと思います。よろしくお願いたします。
- 委員： 来週、市とコミュニティの件について協議いたします。内容については、また皆さんにお伝えしようと思っております。
- 会長： コミュニティがすぐに一緒になるという事が難しいのは理解していますが、新しい学校で子どもたちのために行事を行っていただけられるのであれば、徐々に協議を進めていただきたいと思います、よろしくお願いたします。
- 事務局： ワーキングチームの内容についてご了解いただけましたら、早速、ワーキングチームを設置して取り組んでいけるところから進めていきたいと考えます。メンバー選定を含め、チーム構成についてご提案がございましたら、各委員から事務局にご意見をお寄せいただき、メンバーの決定や、依頼に関しては会長・副会長にご一任いただきたいと思いますと考えております。なお、次回の協議会では、実施したワーキングチームの取り組み報告と、これから設置予定のワーキングチームについての協議をお願いしたいと考えております。

案件2 新しい通学路（案）について

会長： 次に、案件2. 「新しい通学路（案）について」、事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは、新しい通学路（案）について、ご説明させていただきます。

資料2-1をご覧ください。こちらは令和4年度からの通学路（案）の禁野・西禁野エリアと高陵小学校から先の通学路エリアについてのアンケートで、高陵小学校と中宮北小学校の保護者を対象に実施しました。その結果5月27日木曜日までに、合計で53のご意見をいただくことができました。

次に資料2-2をご覧ください。こちらがアンケートの一覧表となります。まずは禁野・西禁野エリアの新たな通学路部分を使用した際のご意見ですが、「西禁野から登ってくる道は、歩道がなく狭い上にガードレールもない。急カーブもあるので見通しも悪い。」や「抜け道として使われており、自動車や自転車がスピードを出して降りてくるので危険である。」といったご意見がとても多かったです。また、「枚方合同宿舎の敷地内は関係者以外立ち入り禁止。」や「敷地内も配送業者や一般のバイク・自転車が通り抜けているし、車道・歩道の区別もなく危険である。」といったご意見があり、さらには「検討の余地なし。」というご意見もございました。

次に、高陵小学校から先の新たな通学路部分を使用した際のご意見ですが、「関西外大御殿山キャンパス前の道は直線でスピードを出しやすい。」や「今まで信号を渡って通学をしたことがないので心配、見守りが必要。」といったご意見がとても多かったです。また、「こちらの方が、距離はあるが慣れた道なので安心。」や「家からは遠回りになるが、通い慣れた通学路の方が良いと、子ども本人が言っている。」といったご意見もあり、さらには「合理的である。」や「妥当である。」というご意見もございました。

両方のエリアで共通するご意見としましては、「関西外大御殿山キャンパス前については、外大生の往来も多く、大学生と児童との接触が想定されるので注意が必要。」や「外大前の横断歩道の安全性が少し心配。」といったご意見がございました。

これまでにいただいたご意見・ご要望やアンケートのご意見を踏まえ、令和4年度からの通学路について、距離が遠くなる児童もおられますが、安全を第一に考え、禁野・西禁野エリアは、高陵小学校へ通っていた従来の通学路を使用し、関西外大御殿山キャンパス前の横断歩道を渡るルートが良いかと考えます。また、ご意見にもありましたが、外大生と児童との接触や横断歩道を渡る事について不安に思われることもありますので、学校統合により新たに発生する通学路である関西外大御殿山キャンパス前の横断歩道には、当面の間、登下校時に交通指導員を配置してはどうかと考えています。

交通指導員につきましては、基本的にシルバー人材センターに委託となりますが、シルバー人材センターですぐに人材確保ができない場合もございますので、人材確保ができるまでは、地域等で見守りをお願いする必要がありますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

次の資料2-3はアンケートでご意見の多かった場所と内容等を地図上で表記したものといたします。

なお、前回の協議会でご指摘いただきました、高陵小学校前の信号から関西外大御殿山キャンパス前の信号間の3か所にある横断歩道の白線と一時停止線およびその間にある道路標記について、5月26日水曜日に交通対策課へ修繕の依頼を行いました。

新しい通学路(案)についての説明とご報告は以上となります。よろしく申し上げます。

会長： ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問はありますか。

・

・

委員： 資料2-1図Aの道を通学路とした場合、何人くらいの児童が通る予定ですか。

会長： 約30名だと思います。

- 委員： 30名もいれば安全上問題がありますね。
- 会長： 両校の保護者からはこちらを通さない方がよいとのご意見が多かったので、現実的ではないのかなと思います。
- 委員： 高陵小学校横の坂道を上がってくる道の方が、可能性が高いという事ですね。
- 会長： 安全を第一に考えるのであれば、そちらの道の方がよいと思います。
- 委員： 新しい学校の通学路については、高陵小学校横の坂道を上がってくる従来通りの道という事でよろしいでしょうか。
- 会長： そういう事になります。
- 委員： このアンケートはPTAに対してとったのでしょうか。
- 会長： アンケートは事務局から両校全保護者に対して行いました。
- 委員： この通学路で今の保護者、今後入学する児童の保護者の方のご理解は得られるということでもよろしいでしょうか。
- 会長： 決定した内容について、事務局から保護者に案内を出していただくということになりますが、やはり安全には代えられない。問題があるとすれば帰宅時、禁野、西禁野地区の児童が別ルートを通って帰る恐れがあるので、別途指導が必要かなと考えております。
- 委員： 見守り活動、交通指導員（シルバー人材センターへの委託）の方については朝、夕方どう配置すればよろしいでしょうか。
- 会長： 高陵校区であれば、坂下は朝だけ、横断歩道は朝と夕方の配置をお願いしたいと考えております。
- 委員： どの方がどこに立たれているのか知らない部分もありますので、そこは私も把握していかないといけないと思っております。通学路はこれでほぼ決定してあとは地区でどう見守り活動を行っていくかの話になると思うので、「地域・PTA」のワーキングの中に落とし込み検討していくというのはいかがでしょうか。
- 会長： シルバー人材センターに人がいればそこをお願いしたいと考えていますが、なかなかセンターも人がいないということですので、地域の方のご協力ということについてはワーキングチームで話し合っ決めていくべきことだと思います。
- それでは地域の見守りについてはワーキングチームで協議していく、決定した通学路については事務局の方で両校に案内を出していただくという事でよろしくお願いいたします。
- 委員： 話が変わりますが、資料2-1図Aの道を事務局は歩いて確認しましたか。
- 事務局： 実際に歩いて、道が狭く見通しが悪いということを確認しております。
- 委員： 図Aの道は通学路に向いていないことを確認したわけですね。
- 会長： アンケート結果を見ていただいてもわかりますが、通学路として向いていないというご意見が多くありましたので、安全を第一に考え、高陵小学校横の坂道を通る道を新しい学校の通学路として考えています。
- 会長： それでは次回、見守りが必要な場所についての確認、交通指導員等の配置についてワーキングチームで協議していきたいと考えます。

案件3 学校名(案)の選定方法について

- 会長： 次に案件3学校名(案)の選定方法について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局： はい、それでは新しい学校名の案に係る選定方法につきまして、一例をご提案させていただきます。資料3をご覧ください。
- まず現在、新しい学校名の案を公募中で、期間は6月30日までとなっております。その後、事務局で集計・票数順にまとめた一覧表を作成させていただき、その

結果を、8日までに各委員様へ送付させていただき予定としております。そして、各委員様の方で、お時間が短く大変恐縮ですが、9日から14日までの間で、応募された学校名案の中から一番よいと思う案を理由も含めてご選出いただきたいと考えております。

なお、選定する基準ですが、応募要項の中にも記載があるのですが、「子どもたちの健やかな成長、地域への発展への願いが込められた名前」「誤読がなく（わかりやすく）、親しまれる名前」という観点からご選定いただきますようよろしくお願いいたします。

そして次に、各委員様の方で選定していただきましたら、7月15日までに事務局にご回答いただきたいと考えております。

そして事務局の方では候補の案を作成させていただきます。まず1つ目としまして、応募された学校名案の中から最も名前が多かった学校名を3つ程度あげさせていただき、下の例をご覧くださいと、さくら、もみじ、きめつ、きららなどなどの一覧の中から、さくら、もみじ、きめつが上位3位ですので、この3つをまずあげさせていただき、次に、各委員様に選定していただいた学校名案、例でいきますとA委員桜、B委員うめ、C委員かえで、かし、さくら、きんや、禁野、もみじ、みらい、あおぞらと計10点、こちらもあげさせていただき、(I)と(II)をあわせた案を候補とさせていただきたいと考えます。(I)と(II)が被らなかつたら基本的には13点出てくることとなりますが、例では平仮名の「さくら」と「もみじ」が被っておりますので合計11点という形となります。

次に第4回協議会では、候補案に示された学校名についてご協議いただき、例えば、「きめつ」は公募票数上位3位だが、校名にふさわしくないので除外しようとか、平仮名と漢字は同一とみなすか別々とみなすか等ご協議いただき、児童が投票する一次候補をご決定いただきたいと考えます。

下の例でいきましたら「きめつ」は除外され、「さくら」と「きんや」は平仮名もしくは漢字で統一され、一次候補としましては合計8点ということになります。

今回は例としてひらがなと漢字は同一とみなしていますが、もちろん別々として一次候補にあげていただくこともできますので、そこについてはまたご協議していただき決めていきたいと考えます。

次に、この一次候補の学校名案の中から、高陵小・中宮北小の児童による投票で、最終候補案を選定していきたいと考えます。

小学校の教職員の皆さんには、お時間がない中大変恐縮でございますが、7月19日、20日の2日間で児童による投票にご協力をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

そして児童の投票によって選ばれた最終候補から8月上旬に枚方市の方で学校名を決定させていただき、9月に条例改正を行うと、このような流れとなっております。以上となります、よろしくお願いいたします。

会 長： ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

・
・

委 員： 児童の投票で、最終候補を1本に絞るイメージですか。

事務局： 前回までの協議の中では、協議会の中で3点程度選定した後、その中から枚方市で学校名を決めるということだったと思います。今回の児童による投票は、議会等のご意見も踏まえ、子どもたちでつくる学校という観点から新たに取り入れたものになります。児童による投票で最終候補を3点程度に絞り、最終的に枚方市で学校

名を決定したいと考えております。

委員： 3つに絞るというお話ですが、児童に「この3つを候補として決めました」「最終的にこの学校名に決めました」ということを伝えるのでしょうか。

事務局： 子どもたちにどのようにわかりやすく伝えるか、学校とご相談しながら進めていきたいと思っております。

委員： 学校の先生方が困ることがないようにお願いいたします。

事務局： 子どもたちの意見を尊重し新しい学校名を決めていきたいと思っております。

委員： 児童が投票することについては、子どもたちの勉強にもなりますし意義があることだと思います。また、子どもたちの意見を尊重するという点で安心しました。教師側が子どもたちに伝えることもとても重要ですので、事務局と一緒に考えていきたいと思っております。高陵小も中宮北小も同じ手法での投票を行う必要があると思っておりますので、紙に書いて担任に提出するのか、選挙と同じように投票箱に投函するのか等、投票方法についてもしっかり考えていただけたらと思っております。

会長： タイムスケジュール的にはこれがぎりぎりかなと思っておりますので、夏休み直前になりますがよろしくお願いいたします。また、学校名案については次回第4回協議会で選定していきたいと思っておりますので、事務局で集計作業等をよろしくお願いいたします。

案件4 統合に係る予算関係について

会長： 次に、案件4統合に係る予算関係について、事務局から説明をおねがいします。

事務局： はい、それでは統合に係る予算関係についてご説明させていただきます。資料4-1をご覧ください。

まず9月補正予算で計上するもの、これは6月末までに本市財政課にあげていき、予算をつけてもらうため今後協議していく必要のあるものなのですが、高陵小から中宮北小への移転費用、記念品であるマフラータオル、校旗、パーテーション、中宮北小裏門オートロック改修工事をあげていく予定としております。なお、マフラータオルは令和3年度の児童と教職員、令和4年度に入ってくる児童等をあわせて約500枚分の予算を計上する予定としております。

また、パーテーションにつきましては、1つの教室で男子と女子が分かれて着替えができるよう、学校からの依頼があったものです。そして、中宮北小裏門改修工事は、令和4年度4月から約9割の児童が現裏門を使用することになることから、裏門に通用門及びオートロックの改修工事を行うものです。

次に、令和4年度当初予算に計上するもの、これは8月末までにあげていく必要があるのですが、今のところ高陵小不要備品・物品等の処分費用を計上する予定としております。こちらにつきましては、また必要なものが出てきてまいりましたら、随時計上していきたいと考えております。

また、2番目、校区コミュニティ、PTAの持ち物につきましては、ご勝手ながら一度お部屋の方へ入らせていただき、どのようなものがあるのかざっくりとだけ見させていただきました。こちらの荷物につきましても、小物類など細々したものは各自で移転や処分をお願いしたいところなのですが、冷蔵庫など運ぶものが困難なものに関しては、上記9月補正予算に含めて計上していきたいと考えています。しかし、やはり中宮北小に移す必要のあるもの以外にも、処分するものもあると思っております。高陵校区のコミュニティとPTAの方々をお願いしたいことがあるのですが、資料4-2をご覧ください。こちらの表に、コミュニティとPTAの持ち物で移す必要のあるもの、処分する必要のあるものの選別をお願いしたいと考えており

ます。時期としてはほしい6月末くらいを目途にご選別いただけたらと思います、よろしくお願ひいたします。また中宮北校区のコミュニティとPTAの方でも、この統合を機会に処分するものがございましたら、表の方にあげていただけたらと思います。

そして、高陵小学校の備品、物品等につきましても、「中宮北小に移す必要のあるもの」「他の施設に保管しておくもの」「廃棄するもの」を徐々に選別していておりますが、中宮北小学校でも、例えばグランドピアノや太鼓、オルガン、鉄琴、木琴等はもうすでに必要数があるので不要であるとか、高陵小の備品の方が年度が新しく、逆に中宮北小の方を処分する必要があるとか、そういうものが多々あると思いますので、一度中宮北小の先生たちが高陵小に来ていただいて、あれがほしいこれはいらない等、選別の方をしていただきたいと思います。この件につきましてはまた両校の先生方ともご相談させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。両校の先生でご確認していただき、最終的にどうしても不要、処分するものにつきましても、例えば他の小学校ではこれがほしいとかあるかもしれませんので、不要備品等を他の小学校の先生が見に来ていただく機会も設けたらいいなと考えております。

また、中宮北小に移す必要はないが、保存しておく必要があるもの、例えば保存年限のある書類などにつきましては、中宮北小の保管スペースもかなり限られてくると思いますので、どこか他の小学校や中学校などの施設で一時的に保管できる場所がないかどうか探していきたいと考えます。以上になります、よろしくお願ひします。

会 長： ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

・
・

委 員： 中宮北小にどのくらいスペースがあるのか提示していただかないと、高陵からどれだけ荷物を持っていけるかわかりません。

事務局： 新しい学校になった時にどのくらい収容能力があるのか今すぐお示しすることはできませんが、一時的な保管場所という観点で他の学校も含めて探していきたいと思ひます。

委 員： コミュニティの持ち物を他の学校に保管するというのはできないと思ひます。

会 長： もちろん日頃使用する物につきましては、中宮北小に移す必要があると考えています。新しい学校の教室配置につきましても今後お示ししていきたいと思ひます。

委 員： まだ使える物でも持っていけないのであれば、地区で保管することも考えなければなりません。新しい学校にスペースをいただけるのかそうでないのか、両校区と同じ部屋を使用することになるのか等を決めないと、どのくらいの物を移すことになるのか決められません。

事務局： ご意見いただきましたように準備もごひますので、早急に使用できる部屋についてお伝えすることができるよう調査を進めていきたいと思ひます。

委 員： マフラータオル500枚とおっしゃられましたが、来年入学してくる児童、教職員、お世話になっている地域の方々を考えますと、500枚で足りるのかなと思ひますので、またご検討いただきますようよろしくお願ひします。また、予算の中に記念誌が計上されていませんが、記念誌は作らないという認識でよろしいでしょうか。

委 員： 両校が負担にならないことを前提として、皆さんに再度ご確認させていただいた中で最終的な予算を出していきたいと思ひます。

会 長： 例えば「スピード落とせ」等の道路表記の願ひについても6月末までにあげる

必要がありますか。

事務局： 必ずしも6月末までにあげる必要はございませんが、他課に依頼する内容となりますので、早めに対策が必要な項目をまとめたいです。

会 長： 通学路の危険箇所を確認してそれからでも間に合うということでしょうか。

事務局： はい、そうです。

委 員： 高陵小から中宮北小へ移す時に量的にも重さ的にも大変なのは子どもたちの机・椅子ですので児童や教職員の負担にならないようしっかり予算の中で計上していただけたらと思います。

事務局： 通学路安全対策の話についてですが、令和4年4月から高陵小児童が中宮北小に通学するにあたり、中宮北小裏門横断歩道付近において路面標示等の施工を考えておりますので補足として皆さまにお伝えさせていただきます。

事務局： 机・椅子等必要な物の運搬につきましては委託等を活用し、子どもたちや先生方にご迷惑をおかけしない形で進めていきたいと考えています。

委 員： マフラータオルや中宮北小裏門工事費用等、どれくらいの費用がかかるかも記載して説明してほしいです。

事務局： 概算でもどのくらい費用がかかるのか、また皆さまにお伝えさせていただきます。

委 員： 市道の御殿山線、例えば関西外大前の横断歩道の白線がほぼ消えていますので、そちらも整備する必要があると思います。

事務局： 該当の場所につきましては、関係機関へ白線引き直しの依頼を行いました。

委 員： いつぐらいにできそうですか。

事務局： 今年度中を目指して調整してまいります。

会 長： 9月補正予算については6月末までに計上する必要がありますので、各委員の皆さまもお気づきの点がございましたら事務局までお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

案件5 その他について

会 長： 次に、案件5. その他について事務局から何かありますか。

事務局： 3点ほどご報告とお願いをさせていただけたらと思います。まず1点目、両校の交流事業についてですが、6月1日から高陵小学校、中宮北小学校の両校の児童が描いた絵画等を互いの校内にて展示しています。その他両校の1年生の教材の統一や水泳帽の統一をしていただいております。

2点目ですが、現在、枚方市立小中学校の教員の皆さんの中で、校歌の作詞・作曲をしていただける方、校章をデザインしていただける方の情報収集をしております。校歌・校章については、今後、必要に応じ、ワーキングチームでの議題にあげていきたいと考えています。

そして最後、教育委員会では、平成29年6月に策定した「枚方市学校規模等適正化基本方針【改訂版】」に基いた、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合の取り組みを進めるための「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を令和3年3月に教育委員会において策定しました。

このプランに基づき、令和4年4月に高陵小学校と中宮北小学校を統合して、新しい学校とするとともに、令和8年度の高陵小学校敷地での新校の開校を目指して、4月からこの「新しい学校づくり協議会」で、新しい学校づくりに向けた諸課題の整理や、取り組みに関する協議をお願いしております。

教育委員会では、スケジュールとしまして、令和8年度の高陵小学校敷地での新

校の設計委託を9月に行っていきますが、この新校について、これからの枚方市の新たな教育の推進モデルとなるような学校とするために、ソフト面、ハード面を含めた「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」という資料を作ろうとしています。

これを作る方策としましては、まず、今あります「枚方市教育振興基本計画」から、枚方市のこれからの学校づくりの指針としての「枚方市のめざす学校像」をまとめます。この作成作業については、「枚方市教育振興基本計画」から必要な情報を抜き出し、整理する作業となりますので、これは教育委員会で学校の意見を聞きながら現在作成しています。そして、そのあと、この「枚方市のめざす学校像」に基づいて、これからの枚方市の新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」を作成します。この「新しい学校づくり」については、新校の設計に関わってまいりますので、作成にあたっては皆さんのご意見をいただきたく、今後、協議をお願いすることとなりますので、あらかじめ資料をご覧くださいと思います。

皆様に協議をお願いする時期については、次回7月の協議会を考えておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局： 今の説明に若干補足させていただきます。多くの学校を設置してきた時代には、教員が作詞・作曲等してきており、先ほども校歌・校章については教員の皆さまにとご説明させていただきましたが、今回は2つの学校が1つになるということもあり、地域の方にもご協力いただけたらと考えます。例えばそれぞれの地域の中で、作詞・作曲を専門的にやっている、得意だよという方がおられましたら情報をいただけたらと思います。

それともう1点、新しい学校づくりに関して、今の資料は素案という形で作成しております。今後、9月の設計に向けて地域や議会等の皆さまから様々なご意見をいただき進めていきたいと考えており、また次回以降の協議会でご協議いただけたらと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

会 長： ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

・
・

委 員： 学校の交流事業の補足ですが、市教委から児童、教職員に配付していただいているiPadに搭載されているGoogle Classroomを活用して、児童や教職員の交流ができたらと考え、準備を進めております。また、夏休みを利用しての教職員の合同研修会も考えております。

委 員： 令和4年度以降の教室配置が先決かと思っておりますので、次回の協議会では新しい学校づくりと併せその部分も考慮していただきますようよろしくお願いいたします。

事務局： 令和4年度以降の教室配置についても、概要ができた段階で皆さまにお示しいたと考えます。

副会長： 今お話がありましたように、前回、PTA本部役員で協議した時にも、教室配置のイメージができていないので、新しい学校のイメージができないとの意見がありましたので、よろしくお願いいたします。

委 員： 資料は、せめて協議会がある3、4日前には各委員に配付し、じっくり目を通して考える時間がないと、協議の時間も1時間では終わらなくなってしまいます。

事務局： 今後は、時間的余裕をもって資料を皆さんにお渡しできるよう努めてまいります。

会 長： 事務局よりその他、何かございませんでしょうか。

事務局： はい、次回協議会の日程調整をお願いします。

新しい学校名の集計がありますので、7月17日（土）はいかがでしょうか。時間は10時でよろしいでしょうか。

○（「異議なし」）

会 長： 次回はコロナの状況にもよりますが、7月17日（土）の10時からで、場所は高陵小学校でお願いします。リモートで行う場合は、事務局から改めて連絡をしてもらいます。それでは、事務局から次回、協議する項目のお知らせをお願いします。

事務局： 次回に協議する案件は、学校名の選定作業、通学路の決定、校歌・校章、備品等の引っ越しについて、また、中宮北小学校に設置する仮設校舎についてのお知らせ、新しい学校づくり（素案）に係る協議を予定しております。

会 長： 皆様のご協力のおかげで、会議がスムーズに運びました。本日の協議会はこれで終了としたいと思います、ありがとうございました。